

市の人口	
(昭和59年10月1日現在)	
世帯数	51,523世帯 (前月比1.1世帯増)
人口	162,798人 (前月比143人増)
男	80,992人
女	81,806人

宇治市政だより

10/21

昭和59年
(1984年)

第681号

発行 京都府宇治市
編集 広報課
〒611 京都府宇治市宇治琵琶33番地
電話 (0774) 22-3141
●毎月1日・11日・21日発行



▲乾電池収集の啓発用看板が置かれたゴミ定点(10月16日、南陵町で)

筒型乾電池を収集

燃えるゴミの収集日に 11月5日から実施

市では、来る十一月五日から、筒型乾電池を有害ゴミとして分別収集します。使用済み乾電池は、処理する過程で含有水銀により、環境汚染を招く恐れがあると言われています。このことから、市民の皆さんの不安を除くため収集を実施。燃えるゴミの収集日のうち、月・火・水曜日に燃えるゴミと区別して収集します。住みよい環境づくりのために、ご理解とご協力をお願いします。

燃えるゴミと分け定点へ

来月一月中旬から実施する筒型乾電池の収集は、燃えるゴミの収集日のうち、月・火・水曜日に、市収集車へ燃えるゴミと一緒に分別して行きます。

こうなります…乾電池の回収

筒型乾電池は

- ・集める日時 燃えるゴミの収集日のうち月・火・水曜日に当たる日時。
- ・出し方 透明のビニール袋に入れ、口をしっかりと縛る。
- ・出す場所 ゴミ定点の横に区別して置く。

ボタン型乾電池は

- ・電機・器具店 カメラ店、時計店などにあるボタン型乾電池回収箱へ。

このため、不用になた筒型乾電池をゴミとして出す時は、筒型乾電池だけを専用のビニール袋に入れて口をしっかりと縛り、燃えるゴミと区別して指定箇所に集めます。

収集車でもめられた乾電池は、城南管理組合の集合して、自然環境の破壊、生活環境の悪化をもたらす恐れがあると言われています。また、最近では乾電池の寿命を延ばすために、水銀含有量の多い水銀電池や鉛電池、アルカリ電池や鉛電池が流れて、中から水銀が流れ出し、流出した水銀は有機物となり、将来、自然環境の破壊、生活環境の悪化をもたらす恐れがあると言われています。



▲お母さん頑張ってと励まされながらの親子健康体操(10月10日、太陽が丘で)

第3回市民スポーツまつり 秋空の下、歓声響く ——太陽が丘へ6,000人——

体育館の十日、宇治市民スポーツまつり。会場が丘スポーツセンターが、府立山城総合運動公園(大塚)で行われました。当日は、あじきの曇り空、肌を感したものの、家族や子どもたちを約六千人が、体力テストやスポーツレクリエーションを、さわやかな汗を流していました。健康体操では、日ごろ運動不足がちなお母さんや、子どもたちも参加され、この外、テニスやダンス、健康相談コーナーなど、いずれも行列が長く、盛況が、終日続きました。市民スポーツまつり、市民体育の振興と健康への目標として、今年も開催されました。

ゴミ ご協力ください 分別・水切り・再利用

ゴミ対策は、都市問題の中で大きな課題となっています。市では、ゴミを出す前の「分別・水切り・再利用」を市民の皆さんに提言。各ご家庭でご協力ください。



▲古紙回収で資源の再利用を

清潔・快適な生活環境をつくるために欠かせないのがゴミ処理。市では、毎増え続けるゴミに対応するため、市民の皆さんに「分別・水切り・再利用」の三つのルールを呼びかけています。

●分別: 燃えるゴミと燃えないゴミを、11月5日から、筒型乾電池を分別して出してください。

●水切り: 流しで水切りを十分し、さらし袋の隅を切り、壁に押しつけて水を叩き出してください。

●再利用: 市実施している古紙回収事業や木用品情報センターなど、捨てずに再利用を考慮してください。

●見かけたら通報を
ゴミの不法投棄を見かけたら通報をお願いします。

